



添田麻耶  
年齢 〇6歳  
身長 159cm  
体重 40kg  
BWH 85・51・86

〇校1年生。進学校に通う、普通の少女。  
眼鏡が良く似合う、黒髪の美少女。  
帰宅部。趣味は読書。好きな音楽はクラシック。  
恋愛経験は無し。

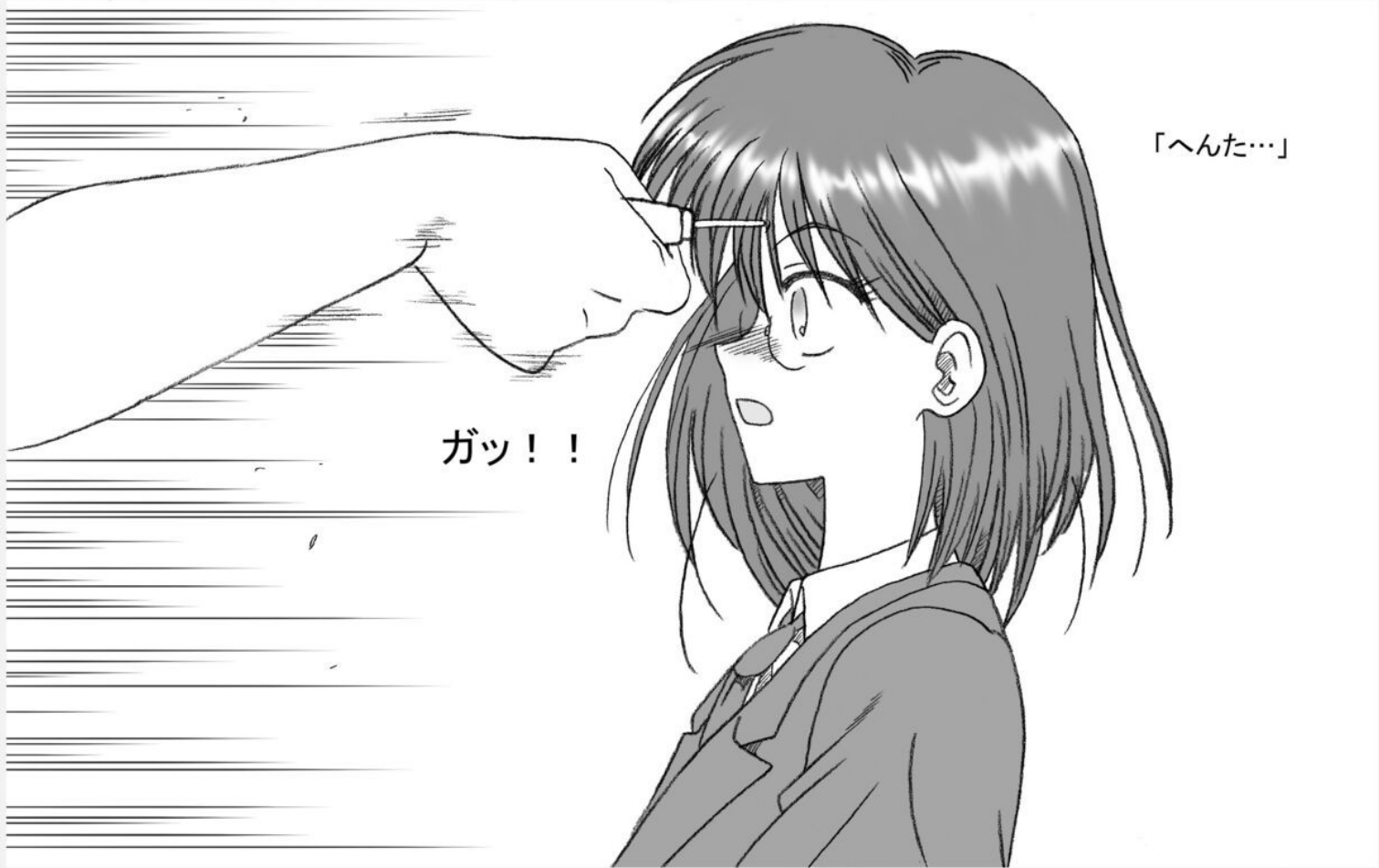


『はあ……もうすぐ期末試験か』



『早く帰って勉強しよ』





「へんた…」

ガッ！！



「へえ……  
いい女じゃねーか」

ビクッ

ビクビクッ

ビクッ

ビクッ…！  
ビクンッ…

「じゃ、早速…人が来ないトコ  
行こーか」

「二人っきりで楽しもうぜ…」



「え……」

「あ……？」

「え……」

「えっ……？」

「あ……」

「……っ」

男は、麻耶のブラジャーをみただけで、彼女が処女だと見抜いた。一度でも男を知れば、女は下着を気にするからである。

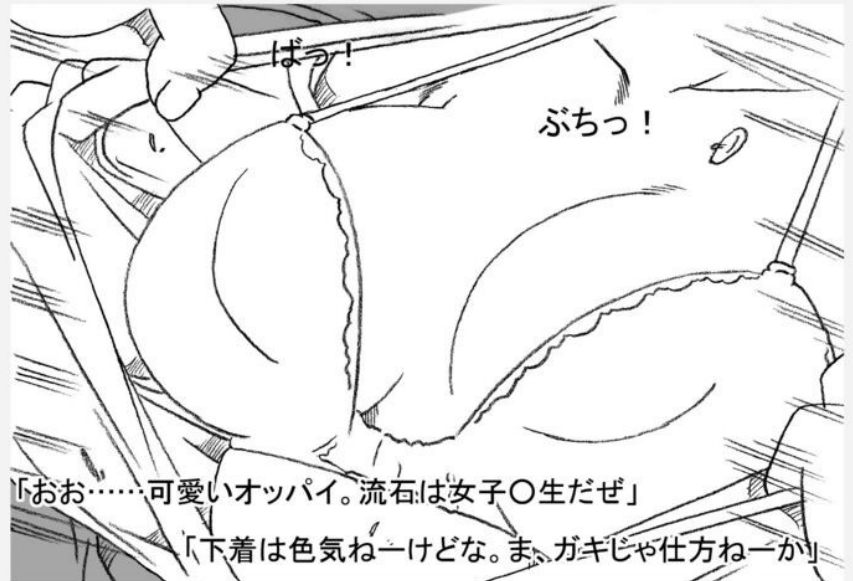
「ああ……柔らけー上にふるんふるん……！  
どっかのバカとは違うぜ……！  
超ポッキする……！」



びんっ……！

「すべすべの太腿に……色気の無い  
無地の白ショーツ……！まさに  
ザ・女子〇生って感じだ……！最高に  
エロいぜ……！」

「エロい身体に、顔は黒髪に、眼鏡美人……！  
こんなだったら、男も放っとかないぜ……！  
生きてりゃいずれ彼氏も出来たらうに」



「おお……可愛いオッパイ。流石は女子〇生だぜ」

「下着は色気ねーけどな。ま、ガキじゃ仕方ねーか」

「ん……柔らけー……。最高……  
〇〇代の女の子って感じだな」



「こんな事、された事  
無いだろ？男に」

「これからされる  
事もあつたらう  
にな……彼氏が  
出来たら」

「こんなに可愛いんだから」

「今夜はカレーにしようかしら。いや肉じゃが…」



「うお、キツ……！さすがは処女」

「チンポ締め付けられるっ…！ただでさえ興奮してバキバキなのに……っ！」



「ああ……気持ちいい。女子〇生と、生セックス…！こんな街中で…！」

「2組の奴ら、東公園で待ってるってよ」



「今日こそ決着付けよーぜ！」



「ほら…すぐそこで人が歩いてるぜ…！ガキとかも居るぜ…！どんな気持ちだ？こんなトコで見知らぬ男相手に処女喪失……！ああ……！ポッキするっ！」

「俺、またキーパーかなあ」



「ああ……！オッパイ……！女子〇生の生オッパイ……！柔らかー、柔らか過ぎる……っ！超興奮するぜ……！ほら！ほら！オッパイ揉んでるぜ！ああ！」

むにゅっ！むにゅっ！むにゅっ！

「温かいぜまだ…！心臓は止まってねーもんな…！ああ…！女の子のオッパイ…！女子〇生の…！」



ぐっ…！  
ぷにゅ！ぷにゅっ！

「処女の女子〇生のマンコ犯しながら、オッパイ揉んでる…！街中で…！半裸の制服姿の女子〇生と、通行人の居る側で生セックス！最高……！オッパイ……！ずっと揉んでいたいぜ……！こんなカワイイオッパイ初めてだ……！やっぱ女の子はこうでなくちゃな…！オッパイ可愛い女の子って最高！ああチンポポッキするっ！もう長くはもたねーぜ！なあ！」

「ああ可愛い……！可愛過ぎる……っ！  
黒髪で……！眼鏡の似合う色白美人……！  
彼氏無しで……！処女の女子〇生……！  
まだ〇5～〇6歳ってとこか？オッパイも  
それなりに膨らんで来てて、もう大人だ……っ！  
子供らしく華奢で、でも太腿もお尻も育って、  
完全に男をボッキさせる身体だけ……！  
ああ……！オッパイ可愛い！巨乳って訳じゃ  
無いけど、すっげー美乳！見てるだけで  
射精しそうだ……っ！」

ぱんっ！ぱんっ！

ぴたっ！ぴたっ！  
ぴたんっ…！

ぱん！ぱん！ぱん！

「ほらほら、オッパイ揺れて可愛いぜ！  
どうだ？男にオッパイ見せてセックス！  
イイだろ？興奮するだろ！なあこのエロ  
女子〇生！こんないい身体、男に見せて  
セックスさせないなんて損だぜ！きっと  
お前のクラスメイトも、このオッパイ想像  
してシコってるぜ！何たって。こんな美人  
なんだからな！ああ…！大人の俺でも  
こんなに興奮するっ…！乳輪ピンクで、  
ちょっと乳首デカいのがエロい…っ！  
ほら！ほら！超揺れてるぜ！オッパイ！  
若いから、弾力すげー！超ぶるんぶるん  
揺れまくり！」

ぶるっ！

がくっ……がくっ……

ぶるっ……  
ぶるんっ……！

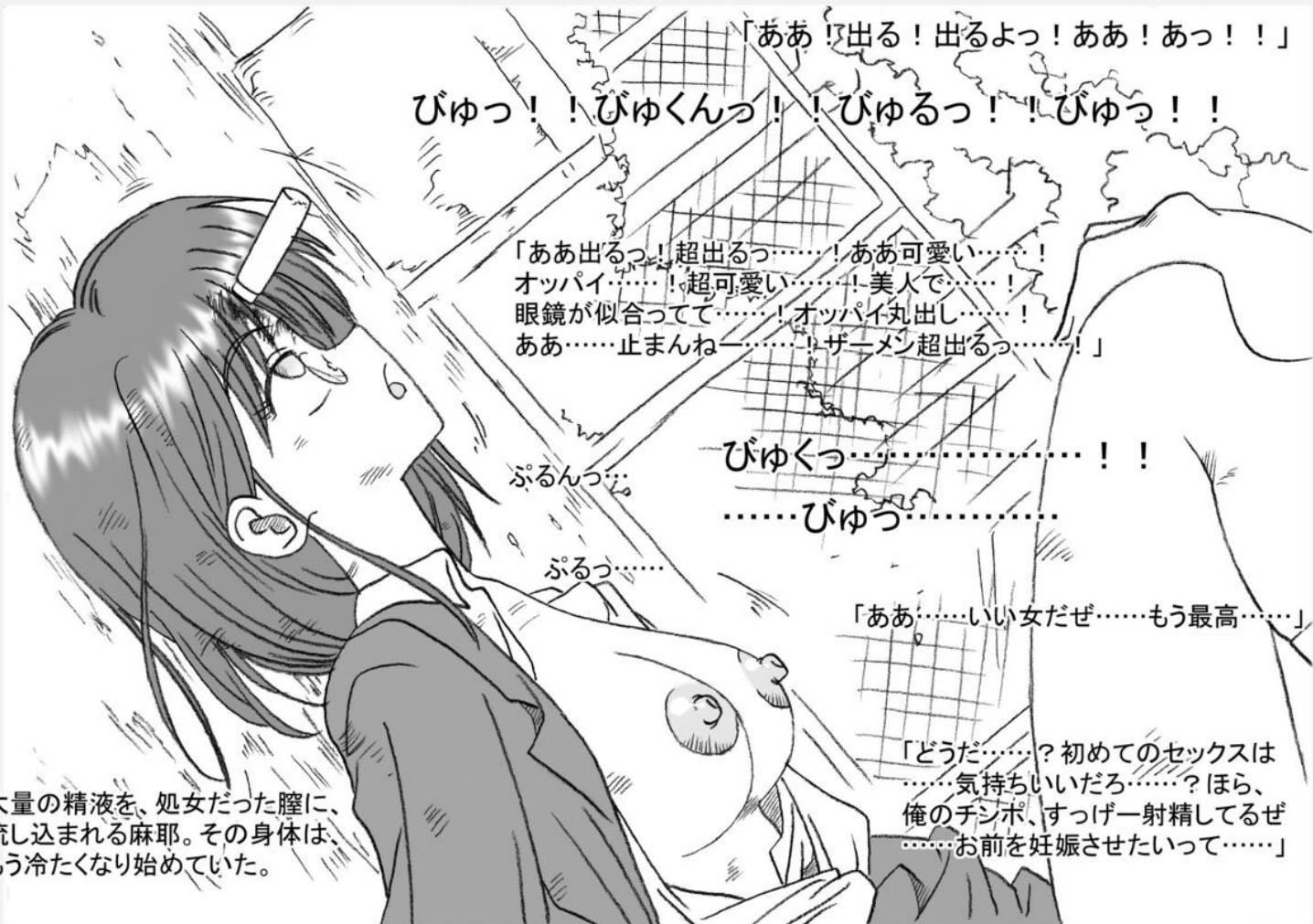
ぱん！ぱん！ぱん！ぱん！

「ああいく！もういく！いくぜ！もう！  
お前可愛過ぎんだよ！このエロ女子〇生！  
マンコでイク！処女マンコ！女子〇生の  
処女マンコでセックスでビュッてイクっ！  
ああ可愛い！仰向けでも形の崩れない  
柔らかい女子〇生オッパイ！処女マンコ  
狭くて締まるっ！チンポ入ってるぜ！  
陰毛生えまくったマンコに吸い込まれるっ！  
彼氏居ないから、メチャクチャ剛毛のマン毛  
最高にエロいっ！ああ！ああ！いく！  
いく！ああいく！ああ！」

ずぶっ！ずぶっ！ずぶっ！

ぱん！ぱん！ぱん！ぱん！

パンパンパンパンパンパンツ！！



「ああ！出る！出るよっ！ああ！あっ！！」  
びゅっ！！びゅくんっ！！びゅるっ！！びゅっ！！

「ああ出るっ！超出るっ……！ああ可愛い……！  
オッパイ……！超可愛い……！美人で……！  
眼鏡が似合ってる……！オッパイ丸出し……！  
ああ……止まんね……！ザーメン超出るっ……！」

びゅくっ……………！！

……………びゅう……………

ぷるんっ……

ぷるっ……

「ああ……いい女だぜ……もう最高……」

「どうだ……？初めてのセックスは……  
気持ちいいだろ……？ほら、  
俺のチンポ、すっげー射精してるぜ……  
お前を妊娠させたいって……」

大量の精液を、処女だった膣に、  
流し込まれる麻耶。その身体は、  
もう冷たくなり始めていた。

男は、学生証から、少女が麻耶という名前で、  
〇6歳である事を知る。男は、物言わぬ少女の死体を、  
恋人気分で、『麻耶』と呼ぶようになっていた。

「ほら、ほら！麻耶！セックスしてるよ！  
セックス！バックからチンポハメてるよ！  
麻耶のマンコ、こんな出入りしてる……！」

ぱん！ぱん！ぱん！

「俺のボッキチンポ！ついさっき会った  
ばかりなのに、俺達こんなに愛し合って  
チンポセックスしてるぜ……！なあ、  
幸せだろ？セックスしてて！ほら！麻耶の  
マンコ、こんなに俺のチンポ受け入れて  
喜んで締め付けてる……う！」

たったったっ……

「どこ行く？」

「どこでもいーよ…  
二人っきりになれる  
トコがいい。裕也の  
部家とか……」

『〇校生カップル……  
初々しいなあ……羨ましい』

がくっ……

がくんっ！

ずっ！ずっ！

ぱん！ぱん！

がくっ

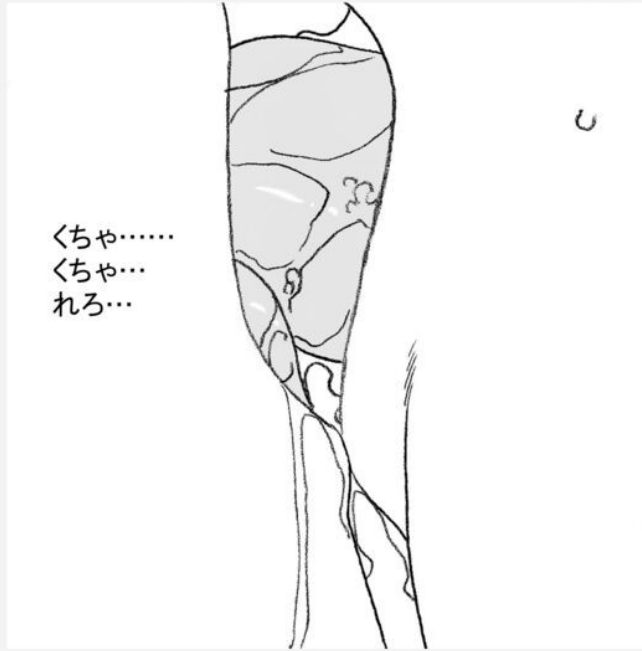
がくんっ、がくっ……！

「ほら！壁のすぐ向うで、俺達が  
居るのも気付かないで、歩いてる  
連中が居る！きっと麻耶の学校の  
生徒も居るぜ！同じ学校の生徒が  
歩いている傍で、俺達チンポセックス  
してるぜ！興奮するだろ麻耶！  
ああ！チンポ！チンポ気持ちいいぜ  
麻耶……っ！！」

見知らぬ、初対面の中年男に、キスをされているというのに、嫌がりも、喜びもない麻耶。死んでいるので、当然だった。

「好きだよ……麻耶……。20歳も年下なのに……こんなに大人の俺を勃起させるなんて……」

くちや……  
くちや…  
れる…



男は、殺人鬼で、異常者だった。正直、可愛い女を殺し、死体を目の前にすれば、年齢や人種など、関係無く、愛する事が出来た。

「可愛い……可愛過ぎるよ……麻耶。こんなに華奢で……柔らかくて……、ああ……俺のチンポ、麻耶の中でこんなにポッキしてる……っ！麻耶を孕ませたくて……！俺の子供を産ませたくて……！射精したいって……！麻耶の膣内に射精したいよ……！女子〇生の子宮に、直に精子ぶっ掛けたいよ……！ああ……！もう……！いく……！！ほら、キスしながらイクよ！麻耶の身体ぎゅっとしながら！出すよ！麻耶！！」



「ん……、可愛い……、んっ……、んっ……」

ちゅ……ちゅば……っ

くちゅ……

ちゅ……っ、ちゅっ……

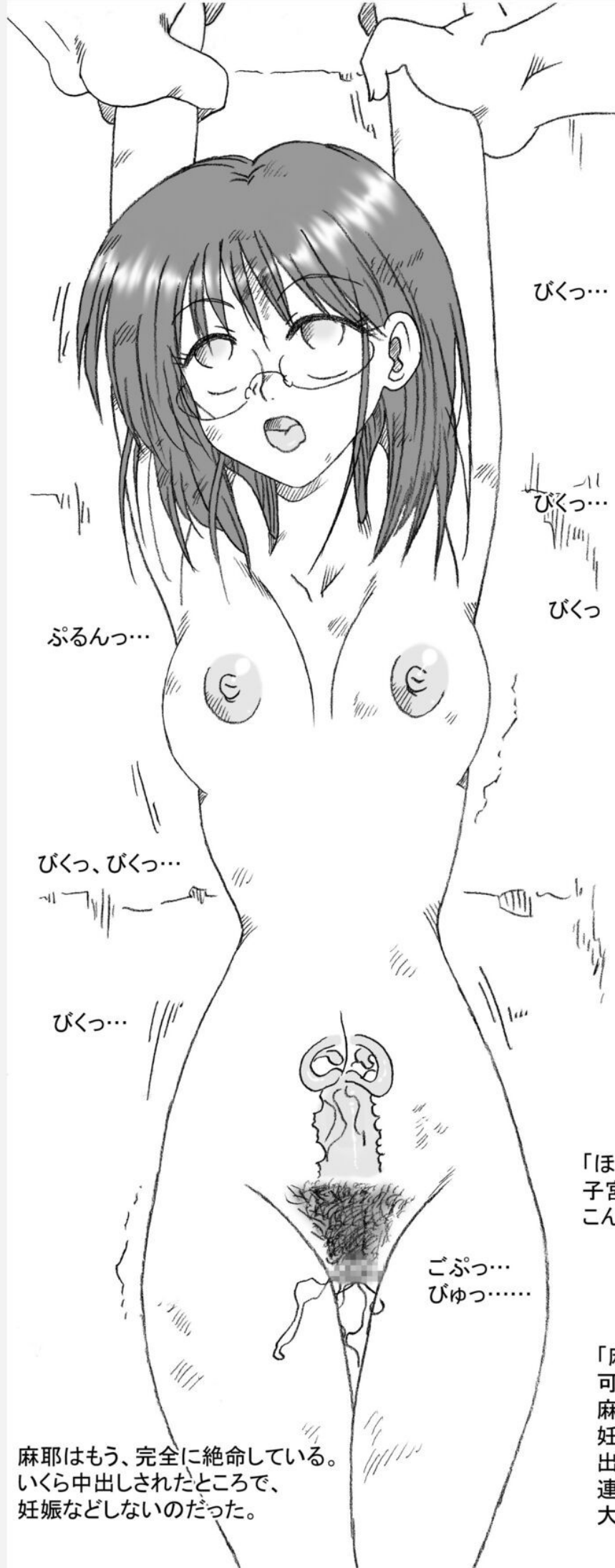
れる……れる……

ぎゅ……うっ！

びんっ……！

ずぶっ……！  
ずぶっ！

にゆるっ……！  
にゆるんっ……！！



「ああ……出る！出るよ麻耶！好きだ！愛してるっ！ああ！あ——っ！！」

びくっ…

びゆるっ！  
びゆっ！

びゆくんっ！  
びゆっ！

どぶっ……！

びゆっ……！

ふるんっ…

びくっ…

びくっ

びくっ、びくっ…

びくっ…

ごぶっ…  
びゆっ……



「ほらっ……！麻耶の中に……！  
子宮に直に中出ししてるよ……！  
こんなに……ああ……止まらないっ……！」

「麻耶のおっぱい可愛いよ……中出しされて、可愛く揺れてる……っ、ああ……まだ出るよ……、麻耶のオツパイが可愛くて……。子宮に中出しだよ、妊娠したら……赤ちゃんに、このオツパイで母乳を出すんだよ、麻耶。〇7歳でママなんて、親や学校の連中に何て言うんだい？妊娠するくらい、セックス大好きな麻耶……！」

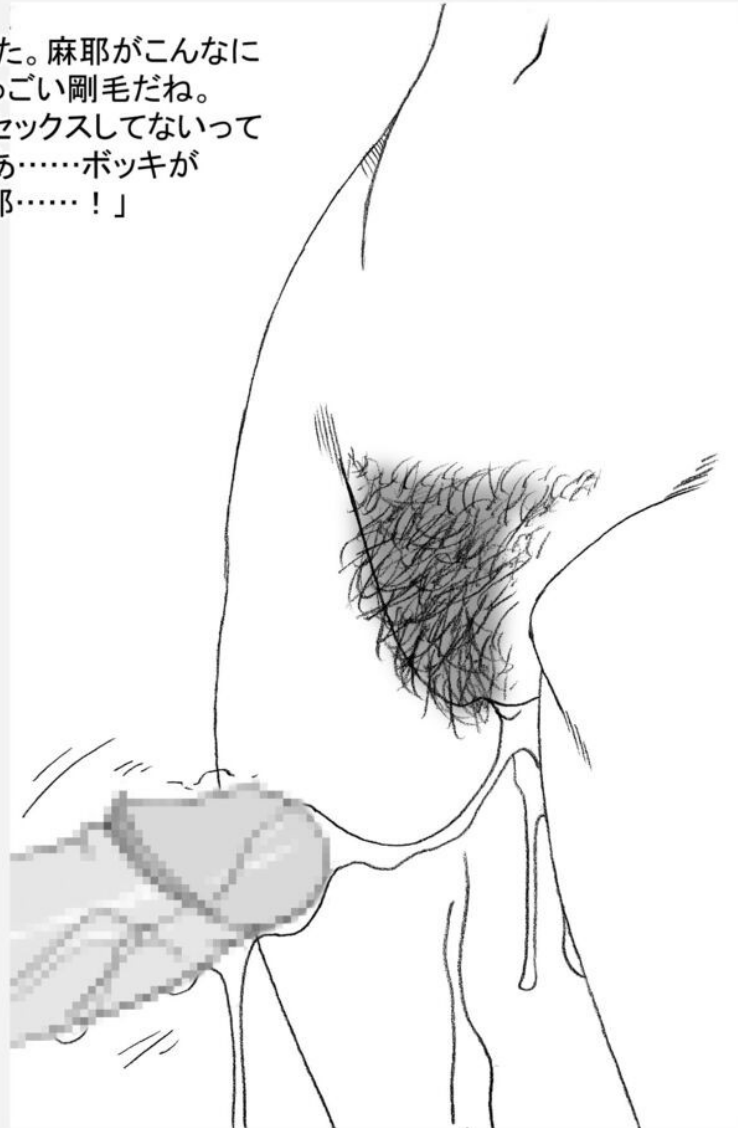
麻耶はもう、完全に絶命している。いくら中出しされたところで、妊娠などしないのだった。

「ほら……たっぷり出た。麻耶がこんなに可愛いから……。すごい剛毛だね。素人っぽくてイイよ、セックスしてないって感じがする……。ああ……ボッキが止まらないよ……麻耶……！」

麻耶は、思春期の女子〇生である。一応ムダ毛の処理はしている。彼氏が居なくても、女子に肌を見せる事は、学生である以上、皆無では無いからだ。陰毛と頭髪以外は、完璧に全剃りしている。



麻耶、通り魔に襲われる／END



真昼間の、住宅街の真ん中で、堂々に行われる、凌辱と惨劇。それは、住民達の気付かないまま、いつまでも続いた。